

各位

上場会社名 株式会社 シーズメン  
 代表者 代表取締役会長兼社長 梶島 正司  
 (コード番号 3083)  
 問合せ先責任者 経理情報システム課長 保住 光良  
 (TEL 03-5623-3781)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年4月7日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,125	20	10	4	5.07
今回修正予想(B)	2,850	△80	△90	△95	△120.31
増減額(B-A)	△275	△100	△100	△99	
増減率(%)	△8.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年2月期第2四半期)	3,204	△49	△55	△56	△71.20

平成29年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,040	50	30	10	12.66
今回修正予想(B)	5,900	40	20	10	12.66
増減額(B-A)	△140	△10	△10	—	
増減率(%)	△2.3	△20.0	△33.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年2月期)	6,285	△87	△103	△259	△328.40

#### 修正の理由

当第1四半期累計期間の業績は、売上高につきましては、春物の主力となるニット・カットの品揃えにおいて売れ筋商品が不足したことなどにより、全社の売上高前年比は86.7%となりました。売上総利益につきましては、強まる消費者のロープライス志向への対応などにより、売上高総利益率は前年を2.1ポイント下回る47.3%となり、売上高総利益前年比は83.1%となりました。販売費及び一般管理費は前年比88.0%と削減できたものの、営業損失27百万円、経常損失31百万円、四半期純損失41百万円となり、計画を下回る推移となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は、前回予想を下回る見込みです。今後の見通しにつきましては、秋冬シーズンの主力アイテムであるアウターの品揃え強化、および、OEM生産の取組みによる、品質・価格ともに競争力の高い商品群の投入を主な要因として、売上の増加を見込んでおります。また、引き続き販売費及び一般管理費の削減を推進することにより、第3四半期会計期間・第4四半期会計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想を上回るものと見込んでおります。

その結果、通期の業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を下回りますが、当期純利益は、前回予想と同等となる見込みです。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上